

大田区自立支援協議会 第9回地域生活部会議事録

文責：平井委員（事務局一部修正）

(1) 会議の名称	大田区自立支援協議会 第9回地域生活部会			
(2) 開催日時	令和2年2月18日（火） 10：00～12：00			
(3) 開催場所	障がい者総合サポートセンター 5階多目的室			
(4) 出席した委員、事務局	宮崎 渉	相原 美晃	青山 明子	大宮 謙一
	鶴田 雅英	宮嶋 祐紀子	山根 聖子	相澤 あゆみ
	榎 拓巳	恵良 幸樹	大岩 香代子	小野 英次郎
	棧敷 洋子	島村 勝	清野 弘子	中野 真弓
	新田 美和	平井 有希子	山崎 訓子	山田 悠平
	区事務局：福島係長、秋山、西澤、齋藤、親跡			
(5) 内容・要旨	<p>1 議題</p> <p>(1) 各連絡会等の情報提供について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平井委員より 2月28日（金）おおたTSネット第9回拡大定例会開催 ・鶴田委員より 3月14日（土）映画『インディペンデントリビング』公開 <p>(2) 令和元年度第4回運営会議のフィードバック</p> <p>ア 主な討議内容</p> <p>→第3回本会に向けた打ち合わせに時間を割いたとの報告あり</p> <p>イ 切れ目のない自立支援協議会の運営について</p> <p>宮崎委員：協議会委員の任期が2年になったことや目的、どのように継続していくべきかの確認も含めて、来年度に第1回の本会を開催する予定。活動を引き継ぐワーキンググループ（以下WG）もあるので、そちらについても確認が必要。</p> <p>ウ 大田区障がい者施策推進会議（以下推進会議）への対応</p> <p>宮崎委員：おおた障がい施策推進プラン（以下プラン）に関しては、提案という形でなくても意識を持ち続けることが大切な内容であることも多い。それらを含めて見直したい。</p> <p>山田委員：プランを検討してほしいという意見があったがどうなったか。プランに対する意見出しそのものが必要ではなかったのか。</p> <p>鶴田委員：WGや部会で意見をまとめて部会として出すというものだった。</p> <p>山根委員：プランの会議が2/14に開催された。実態調査の概要の報告（回収率40%）、プランの策定について。次年度こそ意見をまとめてプランに活かしていけるのではないか。自立支援協議会の状況についても報告。3つの基本目標と一致していることを伝えた。</p> <p>中野委員：地域の課題と向き合うための3部会とAGWGの体制となった。プランの見直しについては、1年しかないが夏くらいまでには考察を固めていかな</p>			

いといけないのではないか。今年度やったこと（課題）を自立支援協議会としても早めにまとめればプランにも反映しやすいのでは。

相澤委員：プランの意見出しはそれぞれ別々に考えないと難しい。すりあわせ、別々に考える、すりあわせ・・・の繰り返しがいいのではないかな。

小野委員：プランを見ていても関連することのみ目を通しがち。現場として盛り込んでほしい内容もあるが、既存のプランをもっと精査してもいいのではないかな。

山田委員：プランの検討方法自体も皆で検討する必要があるのではないかな。作業部会でも検討していきたい。

鶴田委員：プランがきちんと実行されたかどうかの振り返りは年度内に必要ではないかな。一次素案の中に入っていくことが必要。

中野委員：自立支援協議会は『プランの改定をするところではない』という印象。リアルタイムで生の課題を拾い出すのが役目であり、それを推進会議でプランに反映されるようもっていったらいい。 “課題の提示” が協議会の役目。

山根委員：協議会の課題を拾うのが役目。それを反映させるのが推進会議の役目と承知している。

(3) 「地域生活部会」の令和元年度のまとめ

◆平成30年度から引き継いだ課題

ア 重症心身障がい児・者の地域生活の継続

イ 就労を目指す上で、18歳までに必要な準備と障害児サービスのつなぎ

宮崎委員と鶴田委員が作成した、報告用スライドを他の委員と確認し、意見交換。

◆各WGのまとめ

ア 発達支援マップの検証

今年度は、マップのモデルケースについて、検討を行った。来年度は、マップをより充実させるため、モデルケースをもっと取り上げていきたい。

イ 就労定着支援の調査・分析

調査実施に向け、調査対象の選定や調査方法の検討を行った。区内就労定着支援事業所に配布する調査票（アンケート）について、案を作成した。

ウ 区内施設（日中活動支援）現状確認

区内施設を対象に調査を実施。集約したアンケートを集計し検討したが、集約・集計に時間を要してしまい、分析・検討に時間をかけることができなかった。今年度の活動報告として、アンケートの結果から見えてきた、高齢化の現状について報告することとした。来年は、分析と考察を深める。また、アンケートの集計結果の公開方法についても検討する。

エ 障害福祉サービス利用に関わるリスト作成

区の窓口で提供される、サービス提供事業所の情報について、内容や提供方法を確認。また、各サービスに焦点をあ

て、現状や課題を整理した。区が発行しているリストのほか、民間が作成している事業者リストの活用方法についても検討した。リスト自体はあるが、周知・活用が不十分という課題も見えてきた。今年度の活動結果を区に報告し、窓口でのリスト提供について、意見交換を行った。

◆その他の課題

ア これまでの議事録からの抽出内容

専門部会の中で、委員から出た意見を整理し、記録して置くことが大切。その中から、今後協議会で課題として取り上げていくものやWGとして取り組んでいくもの等検討していく必要がある。

イ その他

(4) 公開勉強会・公開セミナーについて

ア 風雷社中との打ち合わせ結果

イ 役割分担の最終確認

ウ 懇談会

エ その他

当日のタイムスケジュールや役割分担、集合時間等について確認。

(5) 令和2年度の地域生活部会について

ア 令和2年度の地域生活部会の開催

(ア) 第10回は4月21日(火)開催予定

(イ) 司会、書記、作業部会、5月以降の開催の確認等

上記について、来年度初回の作業部会で検討予定。初回は、前年度の各WGメンバーから選出してもらう。

(ウ) 令和2年度の各WGの検討

WGの継続・立ち上げについては、運営会議にて承認を得る。

(6) その他

(7) 次年度に向けた「地域生活部会」での各WGの準備、作業、確認等

ア 発達支援マップの検証

イ 就労定着支援の調査・分析

ウ 区内施設(日中活動支援)現状確認

エ 障害福祉サービス利用に関わるリスト作成

各WGに分かれて実施

○4月作業部会

日時：4月8日(水)10時から11時

会場：さぽーとぴあA棟3階 カンファレンス室

内容：次回部会の役割決めなど

次回、第10回 地域生活部会は

日時：令和2年4月21日(火曜日)10時から12時

場所：さぽーとぴあA棟3階 集会室1